

宇都宮大学で東日本大震災等ボランティア報告会&被災地からの講演会

宇都宮大学では、「災害・震災復興学生ボランティア報告会」を去る11月23日に峰町キャンパス UU プラザ コミュニティフロアにおいて学生・教職員及び地域の方々55名の参加を得て開催しました。

報告会では、開催に当たり塚本副学長が挨拶をし、ボランティア活動に対する意義などを話され、活動へのねぎらいの言葉を掛けられました。

続いて、今年度実施した学生ボランティア団体が活動（福島県乳幼児妊産婦ニーズ対応プロジェクト、宮城県仙台市若林区がれき撤去、栃木県益子町竜巻災害支援、わたり・やまもとキッズサマースクール、亘理町支援（仮設住宅お話し聞き隊、ホームカミングデイ、学習支援））をそれぞれ報告しました。

また、宮城県亘理町から NPO 法人亘理いちごっこ代表の馬場照子さんを講師に招き「地域コミュニティは大きな家族」と題して東日本大震災から現在までの被災者支援等についての講演が行われました。

報告会を行った学生



講演を行う馬場照子さん

